

総勝運送株式会社

の巻

紅葉狩りも足踏みさせられるほど温暖な陽気が続きましたが、師走に入ると、日本列島のあちこちから雪便りが聞かれるようになりました。千葉県でもこの日は朝から冷たい雨が降っていました。取材に出かけるタイミングを見計らったように午後には薄日が時たまのぞいていました。

季節が四季を確実に繰り返すように、時も刻々と二一世紀へと進み、今年もいよいよ残すところわずか一ヶ月となった十二月二日、私たちは勝浦市に本社を構える総勝運送株式会社を訪問し、お邪魔することとなりました。

◇◇◇

事業所訪問も今回で数えること三六回目となりました。訪問したのは、組合に加入されて

設立された会社だそうです。

設立当時は、眼前に雄大な太平洋を望むという土地柄、海産物の運搬が主だったようですが、昭和四十五年ごろからLPガスの運送を手がけられ、市原営業所の現在の取引先は、わが国で初めて家庭用LPガスを「マルキプロパン」のブランドで供給した岩谷産業だということでした。岩谷産業はLPガスをはじめ、卓上コンロ用のカートリッジガスや宇宙ロケット燃料用の液体水素などを取り扱い、一貫した安定供給体制を構築しており、エネルギー分野では欠かせない企業です（少し横道にそれますが、東京オリピックの聖



バルクローリーの前で

いる全事業所のまだ一割にも達しませんが、多くの方々とお話しすることが私たちと業界との大切なコミュニケーションになるので、「続けられるかぎりがんばろう」と雑談をしながら、車を目的地に走らせました。

野球をとおして

事業所と選手(社員)が一体に

今回、訪問することとなった総勝運送は、昨年の事業所対抗野球大会(平成十年度・第八回大会)で、初参加、初優勝を飾るといって、幸運と実力を兼ね備えた野球部を擁する事業所です。同社の市原営業所は、近くに物流の動脈、国道一六号が走り、まだまだ開発が進みそうな市原市の北部、千葉市に隣接した所にありました。

火には「マルキプロパン」が採用されたそうです。そのなかで、総勝運送市原営業所は、LPガスを工業用・自動車用を使用する企業へ供給する大切な役割を担っておられることでした。

同社にはほかに成田・君津営業所などがあり、それぞれの取引先とは友好的なスタンスをとりながら企業努力をされていらっしゃるようです。しかし景気の低迷が長く続くなか、その対策には腐心しておられる。「特に新しいことを始める時期ではなく、減車を含めたコストを抑え、耐える時期」と渡辺専務がおっしゃったものの、「バルク供給システム」を取り入れ、新しい方向へと徐々に地盤を固めておられるとのことでした。

このシステムは、ユーザー側に、いわゆる「入れ物」を設置し、じかに中身(LPガス)だけ注入するというもので、容器を運ぶ必要がないことでむだ省け、環境問題にも前向きに対処されている一面がうかがえました。

二一世紀は、環境問題や安全性を無視した企業は存続がますます難しくなると思いますが、同社のように先見性をもった取り組みは、必ず実



渡辺専務(左)と渡辺常務

「こんにちには健保組合です」と事業所を訪ねると、打ち合わせをしていた渡辺憲一常務が「わざわざご苦労さまで」と、私たちを出迎えてくださいました。応接室に案内され、渡辺富雄専務が同席くださり取材が始まりました。

冒頭に書きましたように、最初は野球に関することから始まりました。渡辺常務は、「まぐれです。運がよかったです」と初参加での初優勝を謙遜されました。渡辺専務にいたっては「どこか別の総勝運送が優勝したのかと思いました。うちがまさか優勝なんて」と信じられな

を結ぶものと私たちは確信しました。

業務に関連して、危険物の運搬に携わることから、安全衛生に関しての講習会を頻繁に開催し、事故を未然に防ぐよう社員教育を徹底されておられます。ガスの運搬を始められて約三〇年間、無事故であるということはそのご努力の賜物といつても過言ではないでしょう。

適度の晩酌とカラオケでストレスを解消し、健康管理

その後、話題は医療保険制度について若干触れることとなりましたが、私たちの組合の現況説明に対して、老人医療費における高齢者の応分負担や厳しくなる組合財政などについても、非常に熱心に聞いていただきました。また、理解を示してくださいました。「自分たちの組合を守るためお互い努力をすべきて、そのためには健康でいることがいちはん」と心強い言葉をいただきました。

最後に、お二人に自身の健康管理についてお聞きしたところ、頻度の差はあるのですが(?)晩酌とカラオケということでした。どうし

った気持ちで率直に話されました。残念ながら今年の大会は、マリンスタジアムまで駒を進めることはできませんでしたが、それだけに去年の優勝の重さを改めて選手の皆さんは感じておられるそうです。そして「優勝することはそんなに甘くないんだ」との反省が活力になり、改めて野球を通じて社員の方々の結束が強まり、仕事のうえでもチームプレーができるようになったとおっしゃられました。

しかし、決して運だけでは紫紺の優勝旗は手にすることはできません。選手と事業所が一体となって成し得たことだと思えます。これからもグラウンドだけでなく、運送業界でも総勝運送のユニフォームがますます活躍されることを期待してやみません。

「バルク供給システム」の構築で地盤を強化

次に話題は、同社の概要について移りました。

総勝運送は、社名のとおり房総半島と勝浦から一文字ずつ採り、本社のある勝浦市に昭和三十三年二月に

でもストレスがついてまわる管理者の方々は、ご自分なりの解消法を皆さんおもちのようです。飲みすぎに注意して上手に発散すれば、お酒はきっと『百薬の長』となるでしょう。こうして、お二人の温厚な人柄に終始した今日の取材を終えました。皆さん、お忙しいなか、本当にありがとうございました。

◇◇◇

本誌がお手元に届くころ、皆さんはミレニアムを迎えられていることと思いますが、ご感想はいかがですか? 千年に一度の節目に出会うことができた私たちを、「ラッキー」という言葉だけで片付けるのはもったいないと思いませんか。二〇〇〇年を記念して、何か一念発起してみてはいかがでしょう。

そして、これから先の千年紀(三〇〇〇年・四〇〇〇年……)を想像してみましょ。今から一〇〇〇年前、あの藤原氏が栄華を誇っていたころ、私たちの祖先は今の時代をよ予測できたでしょうか。

同様に、一〇〇〇年後の予測はとも難しいとは思いますが、ぜひ、読者の広場へのご寄稿をお待ちしております。